

事務事業名		天龍峡保存管理計画推進管理事業			会計	一般会計				
課等名		生涯学習・スポーツ課	係等名	文化財保護第1係	事業種別	政策	開始	17	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり							
	施策	63	地域資産の保存・継承							
目的	対象(誰・何を)	名勝天龍峡指定地			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	保存管理計画に基づき、名勝天龍峡を適正に管理する				名勝天龍峡指定地(m <sup>2</sup> )			236305	
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承している地域資源の数								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	整備事業等における不適格事案件数			0	0	0	0		
	定性目標									
事業概要	<p>・天龍峡は昭和9年名勝に指定されて以来、飯田市の観光のシンボリックな存在であった。その間、船の発着所・遊歩道・吊り橋・ホテルなどの施設を整備してきたが、過去数年来発生し続けている崖の崩落や落石により、適切な保存管理が難しくなってきた。</p> <p>・平成21年度に観光課とともに、文化庁・長野県教育委員会の指導を受け、保存管理の指針となる名勝天龍峡保存管理計画及び公開活用の指針となる整備計画を策定した。</p> <p>・保存管理計画に基づき、指定地内での整備計画の実施及び公共事業等の開発行為による現状変更等が適切に実施されるように調整・指導する。</p>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 策定した保存管理計画に基づき、適切な保護措置を実施				1 保護協議回数			1 3回		
	2 名勝天龍峡に係る文化庁及び長野県教育委員会との保護協議の実施				2 保護協議回数			2 3回		
	3 文化庁文化審議会名勝委員会への整備計画進捗状況報告				3 報告回数			3 2回		
	4 名勝天龍峡保護活用協議会の開催(必要に応じ)				5 委員会回数			5 5回		
	5 名勝天龍峡整備検討委員会での調整									
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		0	0	0	0					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源										
人件費計(千円)②		2,861		1,716						
正規職員所要時間		800		480						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		2,861	0	1,716	0					
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>整備事業に関しては整備検討委員会を開催し、また、他の公共事業(特に三遠南信自動車道)に関しては事業者との連携及び工事に際しての立会いを実施しているため、保存管理計画に定めた取扱基準の不適格事案は発生しなかった。</p>									
改革改善の考え方	①問題点	保存管理計画に基づく整備事業が進捗しているが、主にハード部分の整備が先行し、指定地内に所在する石碑や岩彫り、様々な施設などの個々の資産に対する調査事業及び普及公開が十分でない。								
	②改革提案	個々の資産に関する調査を実施するとともに、サイン計画を立案し、資産の公開活用を目指す。また、その成果を基とする冊子を作成して名勝の魅力と価値の更なる普及に努める。								